



阪急長岡天神駅周辺整備基本計画報告会を開催しました！！

本報告会は、阪急長岡天神駅周辺まちづくりの実現化に向けた取り組みの第1段階として、長岡京市が平成31年3月に策定しました「阪急長岡天神駅周辺整備基本計画」について、関連する土地や建物の所有者や商業者の皆さまを対象に、まちづくりの方向性を共有するとともに、今後のまちづくりの進め方について意見交換を実施しました。

報告会は、令和元年5月24日から7月9日にかけて全23回開催し、案内を受けた992名の方々の内、439名の方が参加されました。

参加者からは、継続した意見交換会の開催要望や個別相談を希望する多数の声があり、まちづくりへの関心度が高い結果となりました。



【主な内容】

阪急長岡天神駅周辺地区は、平成31年3月に策定した『阪急長岡天神駅周辺整備基本計画』で掲げる「ひとが中心の賑わいのあるまち」をまちづくりのコンセプトとして、誰もが楽しく回遊でき、人が集い交流する、長岡天神らしい歴史と賑わいを感じることができる住み心地のよいまちの創生を目指して、市民・事業者・行政の協働と連携により、阪急長岡天神駅周辺の新しいまちづくりを推進します。

ひと中心の賑わいのあるまち



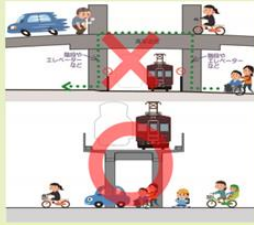
（阪急長岡天神駅周辺の将来イメージ図）



まちづくりへの4つの方針

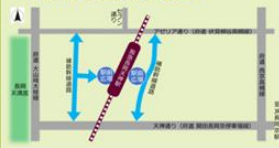
1. 阪急線路の立体化

- ▷ 都市計画決定された天神通りでなく線路の高架化
- ▷ 交通環境の向上と土地の有効活用



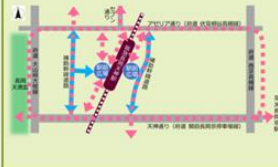
2. 駅前広場の整備

- ▷ 乗継しやすく、商店街からも近い駅直結の広場を東西に配置
- ▷ 駅前広場は、ひと中心の“にぎわいの拠点”として整備
- ▷ 駅前広場へのアクセスを含む補助幹線道路を整備



3. 駅周辺道路網の整備

- ▷ 歩行者ネットワークの形成
- ▷ 駅前広場へのアクセス性
- ▷ 住宅地の通り抜けを抑制
- ▷ 快適性・安全性を向上
- ▷ 歩道・自転車道の整備



4. 効果的な土地利用



- 【駅周辺】多くの人が訪れ交流するにぎわい拠点エリア
- 【アゼリア】歩いて楽しく買い物
- 【天神通】商業・業務の活気 長岡天満宮への参道
- 【住宅東】高い利便性
- 【住宅西】景観との調和

今後は、まちづくり協議会や地域の皆さまとともに意見交換会や個別相談を行い地域の方々の意向も踏まえた新しいまちづくりの実現に向けた取り組みを進めていきます。



意見交換会（勉強会）



個別相談

【主な意見】

参加者



鉄道高架は決定したのか。

長岡京市



連続立体交差事業は、事業主体が京都府となります。現在、事業化に向けた協議を京都府、阪急電鉄株式会社、長岡京市で実施しています。京都府に向けて要望をしています。市民の皆さまの想いもぶつけていきたい。

参加者



鉄道高架が遅れた場合は、他の主要事業も遅れるのか。

長岡京市



阪急線路が高架にならないとまちは完成しない。高架化は決定していないが、まちは用意していくと考えています。駅周辺地区が抱える課題に対して、皆様の協力を頂きながら、進められる事業は鋭意実施します。

参加者



基本計画で示すまちづくりの方向性は理解できるが、自身の土地がどうなるのか。立ち退きなのか。それは何時なのか。具体的な内容を詰めて説明して欲しい。

長岡京市



今後、皆様方のまちづくりへのご意向を聞き、事業の成立性を考えていきたい。行政主導でまちづくりを進めるのではなく、1つ1つのプロセスをボタンの掛け違えのないように皆様と一緒に考えながらまちづくりを進めていきたいと考えています。